

## ○ “ロジカルシンキング” をやってみよう！

前回、キングコング西野さんの“恐怖を取り除くのはポジティブシンキングではなくて、ロジカルシンキング”という言葉を紹介しました。ロジカルとは『論理的』という意味です。物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てる思考法です。これを身に付けることで、以下のメリットが期待できます。

### ☆メリット1：問題解決能力の向上

活動の中で起きる問題の原因を分析し、解決策を考えて実行することで、飛躍的に改善の道が開けることに役立ちます。

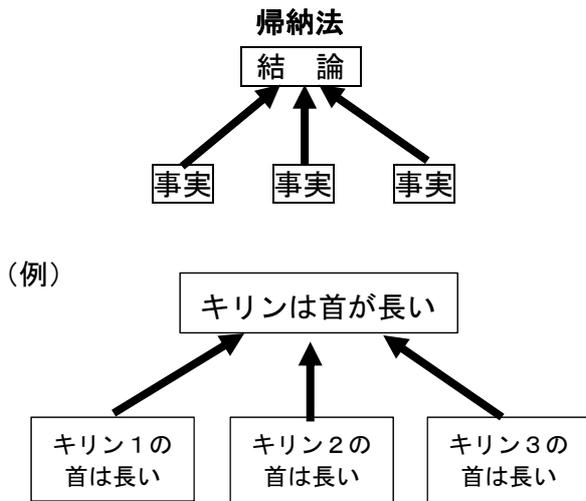
### ☆メリット2：コミュニケーション能力の向上

「聴く力」と「伝える力」の両方の能力の向上が見込まれ、説得力が身に付き、受験や面接の際に役立ちます。

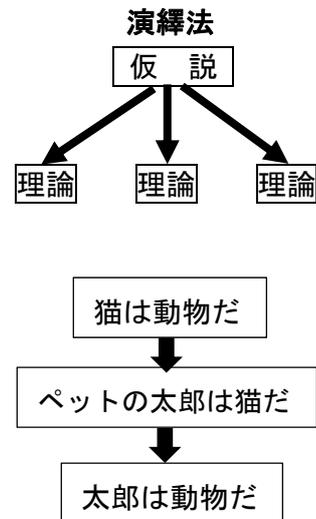
では、どのようにしたらよいか、簡単な方法をお伝えします。

## ○ 帰納法と演繹法

帰納法(Induction)と演繹法(Deduction)という方法があります。“in-”は「中に」なので、帰納法は内向き、逆に、演繹法は外向きとなります。図に表すとこんな感じです。



「どのキリンも首が長いので、キリンは首が長い。」



「猫は動物です。わたしのペットである太郎は猫です。太郎は動物なのです。」

帰納法は、複数の実例を挙げて共通点を導き出し、共通点から結論を出すという方法です。

演繹法は、決められたルールや基準に事柄を当てはめ、その結果から結論を導き出す方法です。

詳しいことについては、様々な本やインターネットでも検索することができます。物事について、感情的にならずに筋道を立てて考えることが大切だと気付けると良いでしょう。この機会に、注意してみたいかがででしょうか？

**“思考とは、行動の予行演習に他ならない。”**

by ジークムント・フロイト(精神分析学の創始者)